

平成 19 年 2 月 16 日

各位

会 社 名 株式会社イージーユーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 西澤 岳志
(コード番号：2495 札証アンビシャス)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役経営管理部長 岩崎 秀樹
電 話 03-3275-1663

個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 17 日に発表いたしました平成 19 年 3 月期の通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を以下のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期個別（通期）業績予想数値の修正 (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) 平成 18 年 11 月 17 日発表	800	101	103
今回修正予想 (B)	627	△31	△31
増減額 (B-A)	△ 173	△ 132	△ 134
増減率	△21.6%	△130.7%	△130.1%
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期)	597	41	61

2. 修正の理由

第 3 四半期までの業績推移、及びインターネット広告業界の事業環境の動向を勘案し、通期の業績見通しを修正いたします。

売上高につきましては、前期に比べ増加しているものの、当初の通期業績予想を下回り、627 百万円となる見込みであります。また、利益につきましては、来期以降の事業拡大に向けた事業投資を積極的に展開したことにより、経常損失 31 百万円、当期純損失 31 百万円となる見込みであります。

主な要因は以下のとおりであります。

メディア事業については、インターネット広告市場全体の成長は維持されており、当社においても他社媒体を取り扱う広告代理が順調に推移しております。しかしながら広告主のニーズが短期間で変化しており、特にターゲティングメール広告市場の収縮や、広告出稿が純広告から成果報酬型の広告へと移行している状況等が、当社のメディア事業の業績に影響を及ぼしていると認識しております。

ソリューション事業については、大型の開発案件の受託が順調に推移しており、当初の予想を達成する見込みであります。

ライフスタイル事業については、建築・不動産業界の傾向として工期が3月末に集中するため、当社商品の納品が来期へ変更となること織り込んでおります。また、自社セレクトブランド (brava) の認知のための販売促進を積極的に行っており、費用面での増加を考慮しております。

3. 今後の取り組み

この度の主な修正要因である市場環境の変化による影響を最小限に留める為に、引き続き各事業の事業規模のバランスをとり、リスクの分散を図ってまいります。

各事業の取り組みは以下の通りであります。

メディア事業については、専門情報媒体において、コンテンツ強化や、当事業年度より実施している SEO・リスティング広告を活用した閲覧数 (PV 数) 増加等により自社媒体の強化を図ります。また、広告代理においては、新規の顧客開拓や取扱い商材の拡大を引き続き行います。

ソリューション事業については、順調に推移しており、引き続き積極的な開発、営業を展開してまいります。

ライフスタイル事業については、自社セレクトブランド (brava) の認知のため、インターネットの活用に加え店舗の新設等による販売促進を積極的に展開してまいります。

以上

上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。
--